

# 政策オプションの定量的プライオリティセッティングの試み

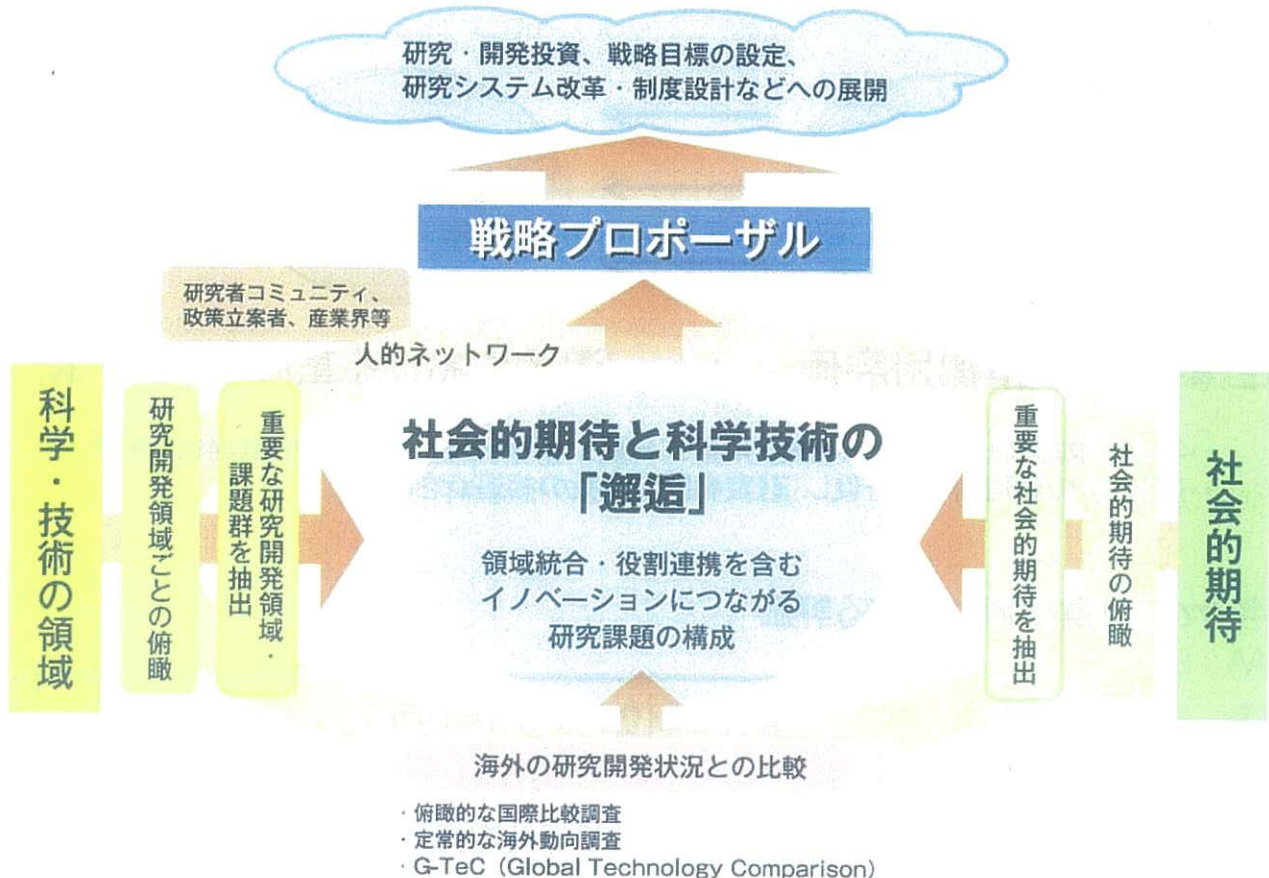
—エネルギー分野の研究開発課題を例として—

笠木伸英

(独) 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー

東京大学 名誉教授

## CRDSにおける研究開発戦略の立案プロセス



# 背景と目的

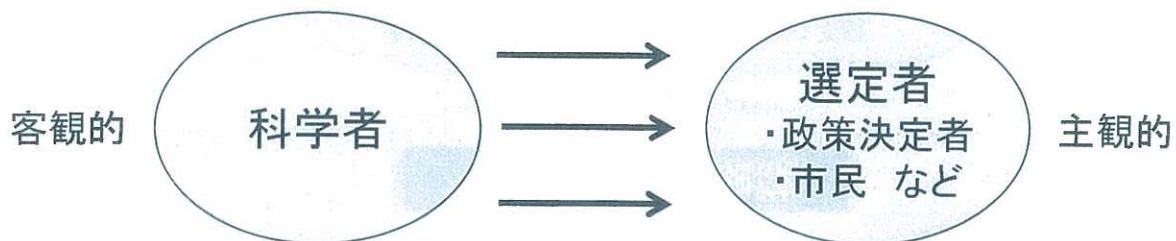
## • 背景と目的:

- 研究開発課題選定の判断根拠の不明確さ、曖昧さ
- 研究開発課題の提案における客観的な検討と主観的な判断を分離
- 科学的検討と合意に基づいた定量的評価、政策的判断根拠の定量化
- 試行を通じて方法論としての可能性と限界を探る

## • 試行プロセス:

- ①対象となる研究開発課題(目標技術)の抽出
- ②科学的根拠に基づく評価(各課題の専門家)
- ③評価に対する重み付け(課題検討とは独立の評価者)

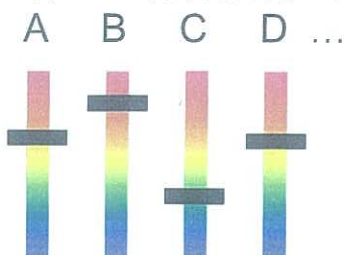
## 科学的根拠と政策的判断の分離と定量化



目標技術の指標別評価  $\rightarrow p_i$       選定における重み付け  $\rightarrow w_i$

- 科学的な評価と主観的な判断を明確に分離し、選定の根拠や議論の論理性を明示
- 選定者の論理的判断を促し、選定者間の意見の相違点を明確化

各々の目標技術に対する評価



優先順位付け(Priority Setting):

$$P = \sum_i^N w_i p_i, \quad \sum_i^N w_i = 1.0$$